

V 地域社会への貢献

農場では、地域住民を対象とした市民農業講座を開催するとともに、農業技術研究会を立ち上げて、農場で開発した技術の移転を進めている。また、幼稚園児、小学生を対象とした食育に取り組み、さらに地域住民に施設を開放し、また農場実習の副産物を定期的に販売するなど、様々な形で市民との交流を図っている。

1 農業技術の啓発

該当なし

2 地域活動に対する支援

1) 放送大学

対象：一般市民（15名）

時期：6月26日、6月27日

内容：熱帯・亜熱帯の農業と作物

2) 畑作野菜の損害評価会

対象：鹿児島県農業共済組合

開催日：（書類審査）

内容：畑作共済ばれいしょ、畑作物共済大豆、畑作物共済さとうきびの評価

3) 鹿児島県立甲南高校

対象：鹿児島県立甲南高校

開催日：5月14日

内容：「課題研究ワークショップ」についての講話

4) さとうきび試験研究委員会

対象：鹿児島県糖業振興協会

開催日：7月14日、3月4日

内容：さとうきびの優良品種の選定・普及について、各島の生産力検定試験の成績検討等を行い優良品種の選定・普及に繋げるための指導・助言

5) 県単試験研究課題の評価

対象：鹿児島県農業開発総合センター畜産試験場

開催日：7月30日

内容：県単試験研究課題の指導・助言

6) 農業関係試験研究（野菜）課題評価会

対象：鹿児島県農業開発総合センター

開催日：8月10日

内容：野菜秋冬作試験成績・設計の指導・助言

7) 探究学習成果発表会の審査

対象：県内高校生

開催日：1月28日

内容：探究学習成果発表の指導・助言

8) 都市農業センター農業研修ゾーン運営協議会

対象：都市農業センター農業研修ゾーン運営委員会

開催日：2月3日

内容：都市農業センター農業研修ゾーンにおける実証試験等の計画および結果の検討について指導・助言

3 食育と環境教育の取り組み

子供達の食の乱れの是正や自然への渴望を満たすために、技術職員を中心に下記のような食育の取り組みをしている。

1) 入来牧場牛肉フェア

対象：地域住民および鹿児島大学教職員

時期：11月8日～11月10日

内容：学部横断的食育の啓発、地域住民への入来牧場広報等を目的として、鹿児島大学生協と共同で喫茶イベントおよび牛肉販売を行った。喫茶イベントでは鹿児島大学生協学生委員会のメンバーによるメニュー考案を行い、学生間での食育啓発気運の高まりを促進した。

2) 令和3年度「未来を拓くキャリア教育推進事業（中高生インターンシップ事業）」

対象：鹿児島県中高生

時期：8月3日～8月5日

場所：入来牧場

内容：経済団体等と連携・協力を強化した中で、中・高校生のためのインターンシップを全県的に実施し、自己の在り方・生き方を考え、将来の社会参画への意義を体験的に自覚させ、学習意欲の向上を図る。

4 施設の公開

周辺住民の散策場所として、農場を常時開放するとともに、自治体や団体などが開催するイベントに対して、要請があれば積極的に施設の開放を行っている。

1) 農場へようこそ（学内農場農事部、唐湊果樹園）

対象：一般市民

時期：随時

内容：鹿児島市内に位置する学内農場農事部と唐湊果樹園は、農場見学、俳句読み、植物採集、写真撮影、散策など、都市に浮かぶオアシスとして市民の人気スポットである。農場としては、癒しの空間として農場を整備し、市民に開放するとともに、来場者に対して農場施設の役割を啓発する。

5 生産物の販売

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、展示即売会及びインフォメーションセンター等における学外者向けの販売を中止した。これに代えて、本学附属病院及び市立病院のコンビニエンスストアでの卸し販売を行った。

1) 本学附属病院コンビニエンスストアでの販売

時期：随時

場所：本学附属病院内（桜ヶ丘キャンパス）

内容：実習で生産した米、野菜、花卉、果物など約60品目7,300点を販売した。

2) 鹿児島市立病院コンビニエンスストアでの販売

時期：随時

場所：鹿児島市立病院内

内容：実習で生産した米、野菜、花卉、果物など約15品目790点を販売した。